

倫理綱領

(前文)

知的障がいのある人たちが、人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるように支援することが、私たちの責務です。

そのため、私たちは支援者のひとりとして、確固たる倫理観をもって、その専門的役割を自覚し、自らの使命を果たさなければなりません。ここに、倫理綱領を定め、私たちの規範とします。

1. 生命の尊厳

私たちは、障がいのある人たちの一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。

2. 個人の尊厳

私たちは、障がいのある人たちの、ひとりの人間としての個性主体性、可能性を尊びます。

3. 人権の擁護

私たちは、障がいのある人たちに対する、いかなる差別、虐待人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。

4. 社会への参加

私たちは、障がいのある人たちが、年齢、障がいの状態などにかかわらず、社会を構成する一員としての市民生活を送れるよう支援します。

5. 専門的な支援

私たちは、自らの専門的役割と使命を自覚し、絶えず研鑽を重ね、障がいのある人たちの一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるよう支援し続けます。

平成 15 年 5 月 25 日 社会福祉法人 柏涛会